

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和4年10月11日(2022.10.11)

【公開番号】特開2021-176594(P2021-176594A)

【公開日】令和3年11月11日(2021.11.11)

【年通号数】公開・登録公報2021-055

【出願番号】特願2021-128428(P2021-128428)

【国際特許分類】

A 6 1 N 1/36 (2006.01)

10

【F I】

A 6 1 N 1/36

【誤訳訂正書】

【提出日】令和4年9月28日(2022.9.28)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0040

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

20

【0040】

図7を参照すると、図7は、スマート・バンド・エイド414として配備されるTNSである。スマート・バンド・エイドは、皮膚に接着する側に接着剤を有する基板と、図4で前述されたSOC400又は電子パッケージと、真皮と接着面との間に配置される1以上の電極408と、を有する。電極は、真皮を通じて神経及び他の組織に電気刺激を提供し、次に、筋肉活動のような身体の機能についてのデータを提供するためにそれらが収縮するとき(筋電図)に、筋肉により生じる電気信号のような身体からの電気信号を収集する。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

30

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

局所神経刺激パッチであって、

フレキシブル基板と、

皮膚に接着する側に接着剤を有する接着面を含む、前記フレキシブル基板の真皮順応底面と、

前記真皮順応底面に略平行な前記フレキシブル基板のフレキシブルな上部外面と、  
前記フレキシブル基板に直接接し、真皮を通じて神経及び他の組織に電気刺激を提供するよう構成された一つ以上の電極と、

前記フレキシブル基板に直接接する制御ユニットと、

前記フレキシブル基板に直接接し、前記一つ以上の電極を電気的に活性化するよう構成された刺激器と、

前記フレキシブル基板に直接接し、神経刺激に対する反応を測定するよう構成されるセンサと、

前記フレキシブル基板に直接接し、リモート活性化装置と通信するよう構成され、ユーザが遠隔地で前記刺激器を活性化できるようにするアンテナと、

前記フレキシブル基板に直接接し、前記制御ユニットおよび前記刺激器の電気通信にお

50

ける電源と、  
を備え、

前記刺激器は、前記アンテナによる通信の受信に応じて活性化し、一つ以上の電気刺激を生成するように構成され、

前記制御ユニット、前記刺激器および前記センサはシステムオンチップによって実装されており、

前記一つ以上の電気刺激は、神経刺激として、前記局所神経刺激パッチ付近の少なくとも1つの位置で当該局所神経刺激パッチを着用しているユーザの1つ以上の神経を刺激するように構成される、

局所神経刺激パッチ。

10

【請求項2】

前記局所神経刺激パッチが真皮の曲がった部分にフレキシブルに結合されるとき、前記上部外面は、前記真皮順応底面と略平行な関係を維持するように構成される、前記請求項1に記載の局所神経刺激パッチ。

【請求項3】

前記刺激器は、刺激のパターンを生成し、検出および分析し、前記反応に基づいて、該パターンを変えるように構成される、請求項1または2に記載の局所神経刺激パッチ。

【請求項4】

前記パターンの生成については最初に、刺激前の検出と分析から始められる、請求項3に記載の局所神経刺激パッチ。

20

【請求項5】

前記一つ以上の電極は複数の同心電極として準備され、該電極での前記電源からの電力量を変化させると、刺激の組織の深さが変化する、請求項1に記載の局所神経刺激パッチ。

【請求項6】

当該局所神経刺激パッチは、パッチの形式を含む請求項1に記載の局所神経刺激パッチ。

【請求項7】

前記一つ以上の電極は、接着性の導電性パッドを含む、請求項1に記載の局所神経刺激パッチ。

30

【請求項8】

前記アンテナはさらに、クラウドを含むリモートストレージデバイスと通信するように構成され、前記制御ユニットは、前記アンテナを介して前記クラウドへの前記局所神経刺激パッチの動作に関するデータを送受信する、請求項1に記載の局所神経刺激パッチ。

40

50